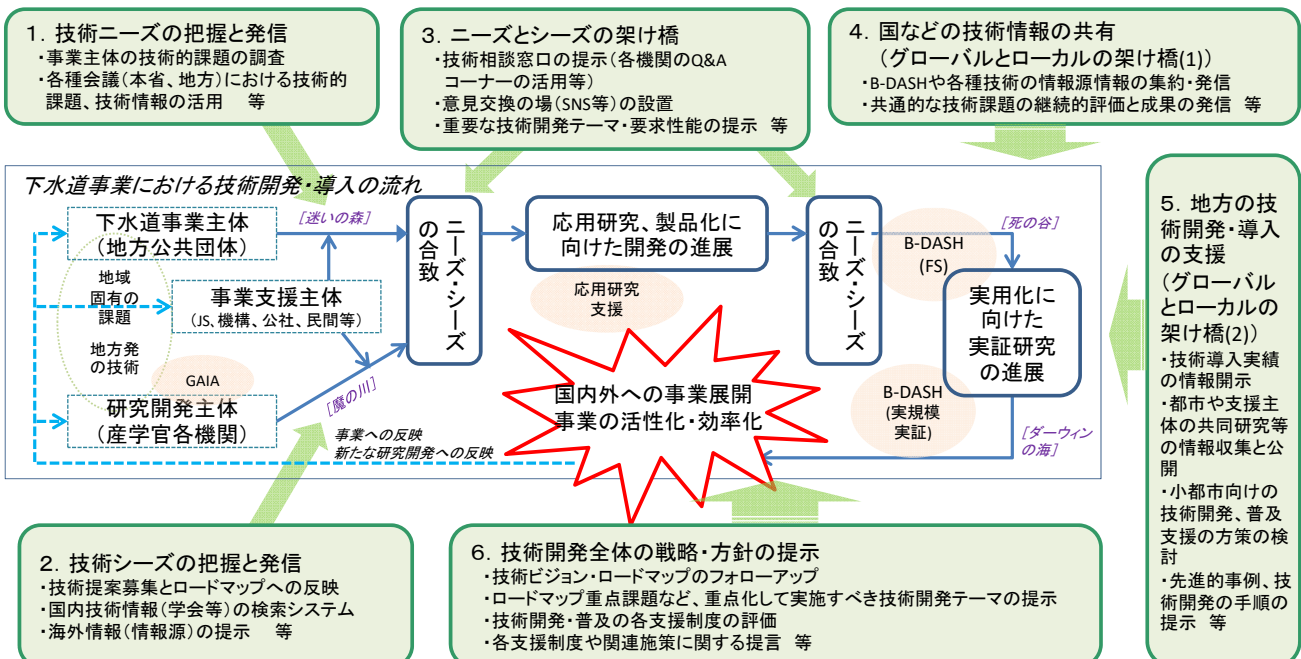


今後の主な取組方針(案)

これまでの取組内容と今後の主な取組方針の整理

◆ 本会議におけるこれまでの取組内容、検討状況、課題等を踏まえ、今後の主な取組方針を整理した(次ページ以降参照)。



下水道技術開発会議におけるこれまでの取組と今後の取組方針(案) #1

活動の柱	H28～R元年度の主な取組	左記の検討状況、課題	今後の主な取組方針(案)
柱①「技術ニーズの把握と発信」	事業主体の技術的課題・ニーズを把握するため、以下を実施 ・全国アンケート調査(H28,H29の2カ年) ・個別ヒアリング調査(4カ年で合計35団体) ・各種会議の議題調査	・全国アンケート調査により、各技術開発項目に対するニーズ度合いを確認。2カ年の調査結果により、ニーズ度合いの経年変化は確認できなかったため調査は休止中。 ・個別ヒアリング調査は、都市規模等に考慮して実施しており、多様な技術ニーズを確認。 ・各種会議の議題調査により、主に中核市以上の都市における時宜にかなった技術ニーズを確認。	【選択・集中】全国アンケート調査は休止(必要に応じて、ロードマップ重点課題の見直し作業の一環としての実施を検討) 【継続実施】個別ヒアリング調査 【継続実施】各種会議の議題調査
柱②「技術シーズの把握と発信」	研究開発主体の技術シーズを把握・蓄積するため、以下を実施 ・B-DASH等の技術提案の募集 技術ビジョン策定から3年が経過したことから、ロードマップの取組状況を確認するため、以下を実施 ・ロードマップの技術開発状況に関する調査(H30,R1の2カ年)	・技術提案内容等を審議の上、ロードマップを改定(H29.2,H29.8,H30.2の3回)。R元年度は、ロードマップ改定に関する技術提案は無かった。 ・ロードマップの技術開発状況に関する調査については、文献調査等により、各技術分野で一定の取組を確認。	【継続実施】B-DASH等の技術提案の募集(必要に応じて、募集方法を検討) 【選択・集中】ロードマップの技術開発状況に関する調査は休止
柱③「ニーズとシーズの架け橋」	技術ニーズや技術シーズの有効な意見交換方策を検討するため、以下を実施 ・プロジェクトGAMとの連携を検討 ・技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方に関する業界団体ヒアリング 意見交換の場の提供に関する提案、連携として以下を実施 ・B-DASHガイドライン説明会、下水道展、下水道キャラバン	・プロジェクトGAMについては、学官のデータベース構築の他、本省にてマッチング促進会合を開催。 ・業界団体ヒアリングや自治体ヒアリングにより、国によるニーズとシーズの情報共有方法への支援が必要なことを確認 ・本省と連携して、B-DASHガイドライン説明会、下水道展、下水道キャラバンを開催。	【重点化】技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方の検討として、課題チェックシートの作成 【継続実施】意見交換の場の提供に関する提案、連携
柱④「国などの技術情報の共有(グローバルとローカルの架け橋(1))」	B-DASH技術の周知のため、以下を実施、検討 ・普及展開状況調査、公表 ・B-DASH技術情報資料の作成、公表 ・B-DASHガイドラインのフォローアップ ・B-DASH技術処理場別一覧の作成、公表	・B-DASH技術の情報発信として左記の取組を実施。	【継続実施】B-DASH技術の情報発信
柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援(グローバルとローカルの架け橋(2))」 1)情報、ノウハウの共有による技術導入支援 2)小都市等の下水道事業をサポートする技術の開発・普及方策	技術開発及び技術導入を支援するため、活動の柱①～③の内容に加え、以下を実施 ・エネルギー分科会の設置	・エネルギー分科会において、主に中小都市向けに必要な技術開発について検討中。	【重点化】技術開発・導入の促進のための技術開発内容の検討

下水道技術開発会議におけるこれまでの取組と今後の取組方針(案) #2

活動の柱	H28～R元年度の主な取組	左記の検討状況、課題	今後の主な取組方針(案)
	技術ビジョンのフォローアップのため、技術提案の募集、行政・社会ニーズの動向を踏まえ、以下を実施 ・ロードマップの改定検討	・ロードマップをこれまでに3回改定(H29.2,H29.8,H30.2)。	【継続実施】ロードマップの改定検討
活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」	研究開発等を重点化して実施すべき技術開発テーマを提示するため、以下を実施 ・ロードマップ重点課題の検討	・ロードマップ重点課題を審議し、これまでに4回公表(H28.7,H29.8,H30.8,R1.8)。 ・ロードマップ重点課題に基づいてB-DASH等を実施。一方、 <u>重点課題の中でも取組が進んでいない分野、社会ニーズの高まりがあるが民間企業では取組まれていない分野がある。</u>	【継続実施】ロードマップ重点課題の検討 【重点化】ロードマップ重点課題のうち取り組みが進捗していない部分について必要な技術開発を加速させるための方策を検討
	技術ビジョン策定から3年が経過したことから、ロードマップの取組状況を確認するため、以下を実施 ・ロードマップの技術開発状況に関する調査(H30,R1の2カ年)	・ロードマップの技術開発状況に関する調査については、文献調査等により、 <u>各技術分野で一定の取組を確認。</u>	【選択・集中】ロードマップの技術開発状況に関する調査は休止